



市民の声が 政治を変える 希望の年に

どんな悪政も、強大な権力も、市民の声で跳ね返していきましょう！市民の声が政治を変える希望の年にしていくため、今年も全力をつくします！一緒にがんばりましょう！

沢井 小曾木

保健福祉センターが廃止に

25年以上にわたって地域の福祉拠点として利用されてきた沢井と小曾木の地域保健福祉センターが廃止されることになりました。12月議会に提出された廃止条例案に自民、公明、市民フォーラム、立憲が賛成し、決定されたものです。昨年3月には、先行して入浴施設が廃止され、利用者が激減していましたが、ついに施設全体が廃止されます。

この施設は、入浴施設のほかカラオケや囲碁将棋などの娯楽・集会施設があり、日々の健康づくりに利用されていました。昨年11月の市長選でも大きな争点となり、これまで存続を願う署名活動なども行われてきました。

批判受け、事業引き継ぎも

市は、廃止を強行する一方で、強い批判を受け、沢井の施設については廃止後に、「高齢者の健康増進」などの事業を引き継ぐことを条件に、民間事業者への貸し出しを行うとしています。入浴施設の復活など、市民要求に沿った事業が行われる施設になるか、市の事業者選定の姿勢が問われます。

また、施設廃止で後退した高齢者の健康増進、介護予防のための施策について、市は急いで検討するべきです。



自転車通学の支援を 保険加入の補助は「検討」

市内の電車・バスで通学する小中学生の交通費は、全額補助が実現しましたが、中学生の自転車通学ではヘルメットの支給以外の補助はありません。広い市内では7校の生徒が自転車通学をしており、自転車の購入費や維持費のほか、雨の日のバス代など保護者の負担になっています。私は、八王子市では年2千円ですが、補助制度があることを紹介し、実態の調査と支援制度の創設を求めました。

市は、維持費等の補助については後ろ向きでしたが、来年度から東京都では自転車損害賠償保険の加入が義務付けられるため、保険料の補助については「検討している」との答弁がありました。子育て支援のために、ぜひ実施するべきです。



青梅市議会議員

藤野ひろえ

日本共産党青梅市議団

2020年1月・2月 藤野ひろえ市議会報告

暮らしの相談、無料法律相談(要予約)はお気軽にどうぞ！

「側溝に堆積している土砂を除去してほしい」、「年金が少なく将来が不安」など、市民のみなさんから多くの相談が寄せられています。市にお願いしたり、弁護士さんを紹介したりして、解決の為に奔走しています。何でも相談、ご要望はお気軽にご連絡ください。

連絡先 090-4003-9987

災害復旧の取り組みと、今後の対応に生かすマニュアルの整備を

昨年10月の台風19号によって、市内では建物被害や土砂崩れなど375件もの被害がありました。市の開設した避難場所は19か所で、そのほか自治会館などを合わせると37施設に約2500人が避難しました。私は情報収集と現場確認をもとに、市に被害拡大防止策などを申し入れ、災害対応復旧通信を発行しました。

12月議会では、この被害への対応として3億7千万円の補正予算が組まれました。私は、避難所の問題や、要援護者対策、防災無線が聞こえない問題、災害ごみの処理方法、梅の公園の早期復旧、ペットの避難、市民への情報提供のあり方など、具体的な問題を取りあげ、市に質問しました。

今回のような災害は、今後も予想されます。今回の災害の中で、緊急時の対応などを急いで教訓にし、避難所・避難場所の対応マニュアルの整備に生かしていくよう、引き続き働きかけていきます。

新市民ホールの整備は今度こそ「市民参加」で - 特別委員会報告 -

ケミコン跡地の新市民ホールを含む複合施設について、再検討が行われています。東青梅1丁目地内所事業用地等特別委員会が12月と1月に開催され、市から民間施設と公共施設と、国の施設の3つのゾーニング(配置)の図案が示されました。また、郵送とインターネットにより行われた市民アンケートの結果が報告され、いずれも多目的ホールを希望する回答が多かったことがわかりました(市が当初計画していたバンケット型ホールの希望は少数)。公共施設については、休日・夜間診療施設、大型児童センターの希望が多くありました。

また新市民ホールに関する懇談会を新年度に設置することも出されました。委員は10名で、文化・芸術に造詣の深い有識者、文化団体連盟、青梅市文化交流センター生涯学習コーディネーター、青梅商工会議所などから各1名と、無作為抽出による市民代表6名となっています。私は、委員を公募でも選び補充すべきと意見を述べました。

委員会では、1月に千葉県勝浦市の芸術文化交流センターの視察が決まりました



1階席・2階席として客席数826席、1階ホール部分は可動式・客席を収納して平土間として各種イベントや災害時の避難所として利用(勝浦市ホームページより)



市長・議員のボーナス また値上げ!

青梅市は一般職員について国の人事院がボーナスの引き上げを勧告した際に市長や議員についてもあわせて引き上げを行ってきました。しかし、多摩26市では、市長では9市が、議員では13市が、勧告にかかわらず引き上げを行っていません。私は、青梅市が公共施設を次々と廃止・削減しながら、これまで同様引き上げ(年0.05か月、市長・議員総額で約93万円の増額)をすることは、市民の理解が得られないという立場から、反対しました。

ワクチン再接種の制度を国に求める意見書を提出するべきです!

白血病や小児がんなどの治療のために骨髄移植をした際、それまでに接種していたワクチンの再接種が必要となるケースがあります。現在はこれを補助する国の制度がなく、約30万円の費用は全額自己負担です。病気治療の上のさらに重い負担を補助するため、独自に制度を創設した自治体は249に広がりましたが、国の制度として実現し、全国どこでも支援が受けられるようにするべきです。

青梅市では、これまで自民党議員が一般質問で取り上げたこともあり、市として来年度に予算化する動きがありますが、市議会では、これを理由に、国に制度創設の意見書を提出することを求めた市民の陳情について、陳情を「趣旨採択」にし、国への意見書は提出しないことになってしまいました(自民、公明、市民フォが賛成)。私は意見書をあげるように、陳情を「採択」すべきことを求め、「趣旨採択」には反対しました。